

今 新田川では 大原水辺公園(おおはらみずべこうえん)



←ここは土手沿いに新田川がゆったりと流れ、すぐ近くで川の流れや音を楽しめます。写真だけで見ると「池かな?」と思ってしまうほど。ただし、ここは急な増水がしやすいエリアなので注意が必要です。

ここは高速道路南相馬ICから少し北西に位置した、深野地区にある新田川大原水辺公園。

奥に見える白い橋は常磐自動車道が走る、新田川橋です。

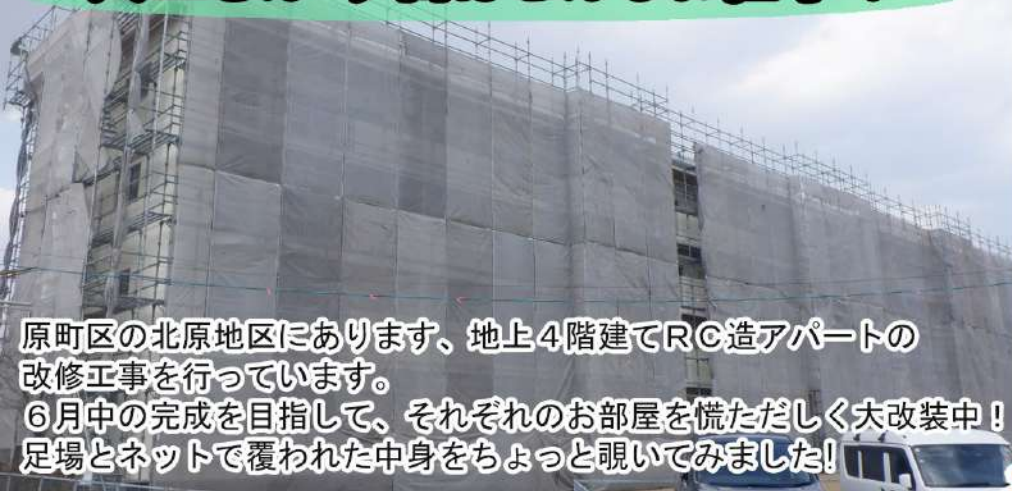
寒さはすっかり弱まり、強い春一番が吹き荒れる3月下旬の今日このごろ。地面にはモグラが顔を出した土の跡がポコポコとありました。

日中はとても暖かく、これから木々や動物が元気に活動を始める時期ですね。



公園脇に線量計が設置されています。今日も異常なし!

大工さん 今日はどうなお仕事?



原町区の北原地区にあります、地上4階建てRC造アパートの改修工事を行っています。6月中の完成を目指して、それぞれのお部屋を慌ただしく大改装中! 足場とネットで覆われた中身をちょっと覗いてみました!

壁、床、天井を一部解体して改装していきます。ここは台所になる場所です。コンクリートの壁が見えますね。▶



◀新しいキッチンが取り付けられたお部屋(*^~^*)



Before

元々はこのような感じのお部屋でした。

畳から、明るい色のフローリングになりました。奥にあるのは、これから取り付けるトイレの便器です。▶



《定年退職のご挨拶》



突然のお知らせですが、私、櫻井正勝は3月17日をもって定年退職を迎えることとなりました。これまでお仕事を通じて沢山の方々に支えて頂きまして、誠にありがとうございました。皆さまと過ごした時間や、頂いた温かいお言葉は、私の人生の大きな宝物です。これからは少しのんびりしながら、新しいことにも挑戦してみようと思っています。今後とも、有限会社佐藤建業や後任者を引き続きよろしくお願いいたします。お世話になった皆さまのご健康とご多幸を心からお祈りしています! 誠にありがとうございました!

～お知らせ～

平成14年の3月に創刊し、隔月でお届けしていましたがこの新田川通信ですが、次号より4月、8月、12月の年3回の発行となります。(次の発行は8月号です)楽しみに待って頂いていた方には申し訳ありませんが、これからも新田川通信をどうぞよろしくお願い申し上げます。(*_*)(*_*)_ペコリ

※抽選会の 〆切について

前回の2月号にて発表をしました、抽選会の受付につきまして、**令和7年5月31日**にて〆切とさせていただきます。まだ当選のご連絡をされていない方はお早めに佐藤建業までご連絡ください!

《大工さんのアイテム》

斧(おの)と鉋(まさかり)

鉋(まさかり)担いだ金太郎〜♪…と童謡でも聞きますが『斧』と『鉋』って何が違うのでしょうか？



左の写真の上が斧で、下が鉋です。ヘッドの形状が違いますね。当社は暖炉があるため、蒔割りに使う斧が年季入ってます(^~) 斧は蒔を割るのに、そして鉋は木を削るのに向いています。鉋で蒔を割ることもできますが、刃の下の方に当てるとヘッドが抜けたりするので注意!!!

鉋はこんな風に持って使えます→ところで…金太郎の絵を見ると斧のように見えますが、古くは大型で刃が幅広のものを鉋と呼んでいたようです。



斧で蒔を割る時は、下に振り下ろしましょう。弧を描くように振ると足を怪我する恐れがあります。((+_+)) →



繊維が曲がってて割りにくい蒔もこの通り、真っ二つ。とてもいいトレーニングになりますよ〜(笑)



↑鉋で木を削る様子。今は機械があるので基本的に使いません。。。

『建物の湿気対策』

これから梅雨の時期が来ると、湿気が気になるころ。湿気で傷んだ畳・フローリングをそのままにしておくと良くないので、新しく交換することをおすすめします。また、湿気や雨漏りがあるとシロアリも出やすく、もしも見つけた場合は早急に駆除が必要です。

(シロアリ駆除は佐藤建業でも受付してます!)

結露の対策としては、断熱材を増やす工事や、サッシを断熱性能の高いものに交換するなど。換気のために玄関や勝手口を、網戸付きのものに交換することもできます。

工事のご相談はお気軽にお電話ください(*^-へ^-*)



◀湿気が多くて、実際にシロアリがいた例。放っておくとどんどん被害が広がるので、早めの対応が必要になってきます。

リフォーム時のちょっとしたお話

床の痛みがあまりなく、フローリングの上貼りにて工事が可能でも、ちょっとしたひと手間が必要な場合が多々あります。

既存の柱が立っているため、綺麗に貼るには柱の下を少しけがいて、そこに新しい床板を差し込んで貼付けていきます。その他にも、度重なる地震で、どうしても建物は上下左右に歪みが出てきます。ベテランの大工さんの腕で、それに対応して施工していきます。



きん た ろう 金太郎

もうすぐ端午の節句! 五月人形といえば金太郎!



上の記事でも書いた、金太郎。桃太郎や浦島太郎と並び、日本三大太郎の一人。せっかくなので今回は金太郎の小話です。5月5日の端午の節句には、鎧・兜や金太郎の人形を飾りますね。知っての通り、金太郎は熊と相撲をして勝つほどの怪力無双。男の子が健康で優しく、そしてたくましく育つようにと願いをこめて、五月人形では金太郎が選ばれるようになったそうです。

さて…肝心の金太郎の物語…内容に関してイマイチ覚えていない人も多いのではないのでしょうか?

というわけで、よく聞くお話を簡単に紹介します。

『昔々(平安時代)、足柄山に金太郎という男の子が住んでいました。金太郎はとても力が強く、相撲でも熊を倒してしまうほど。そんな金太郎の噂を聞いた源頼光(みなもとのよりみつ)が、金太郎を家来にします。立派な武士になった金太郎は、坂田金時という名前に改名し、鬼退治をしてヒーローとなりました。』



これが金太郎のモデルの人物と伝えられる、坂田金時のお話。しかし、この坂田金時が実在したかどうかは疑わしいようなのです。実は…坂田金時にも更にモデルとなった人物がいます。それが、下毛野公時(しもつけのきんととき)という武官。公時は18歳という若さで亡くなっていますが、源頼光の家臣として活躍し、次第に金太郎伝説になったと考えられています。



公時が仕えた武将・源頼光には、こんな英雄譚があります。『京の都では姫君がさらわれる事件が頻発していました。陰陽師の安倍晴明が、大江山に潜む酒吞童子(しゅてんどうじ)のしわざだと暴きます。』

一条天皇の命を受けた頼光が、四天王と呼ばれる武士(渡辺綱、坂田公時、卜部季武、碓井貞光)を連れて、酒吞童子を討伐しました。』という伝説です。

そう…これに登場する坂田公時(金時)が、金太郎です。平安時代までは実話と創作が入り混じって混乱しますね。。。